

移住定住の推進

■沼田町住んで快適住まいる応援奨励事業【拡充】21,000千円■

4年サンセット事業として平成30年度末で失効した「住んで快適暮らして満足移住定住応援事業」の見直しを行い、40歳以上の方及び新婚の方の新築、中古住宅取得に合わせて行うリフォームなどに対する支援を拡充するとともに、持ち家リフォームへの助成について過去の助成利用履歴をリセットすることで移住定住の促進を図ります。

○新築住宅

基礎額			
区分	現行 交付額	新制度 交付額	備考
所有者年齢	20歳代	170万円	土地購入、自己所有地に関係なく交付
	30歳代	130万円	
	40歳以上	50万円	
加算額（該当する条件の交付額を上記基礎額に加算）			
・土地購入	30万円	30万円	土地購入後3年以内に住宅を新築
・町内業者での建設	70万円	70万円	
・融雪溝設置路線に建設	150万円	150万円	
・既存建物取壊し後に建設	限度額 100万円	限度額 100万円	町内業者により20万円以上の工事費用の2/3以内
・子育て世帯	50万円/人	50万円/人	子ども1人につき
・新婚世帯		50万円	婚姻してから3年以内に住宅を新築

○中古住宅

基礎額			
区分	現行 交付額	新制度 交付額	備考
中古住宅購入	限度額 50万円	限度額 50万円	購入費用（土地・家屋）の1/2以内
加算額（該当する条件の交付額を上記基礎額に加算）			
・子育て世帯リフォーム	100万円		子育て世帯に関係なく、中古住宅購入後3年以内に修繕した費用の1/4以内
・子育て世帯リノベーション	150万円		
・一般世帯リフォーム		限度額 50万円	中古住宅購入後3年以内に大規模な改修に要した費用の1/4以内
・一般世帯リノベーション	限度額 100万円	限度額 100万円	
・子育て世帯		25万円/人	上記リフォーム又はリノベーション加算を受ける場合で子ども1人につき
・新婚世帯		20万円	婚姻してから1年以内に中古住宅を購入した費用(土地・家屋)の1/2以内

○持ち家リフォーム等

区分	現行 交付額	新制度 交付額	備考
・リフォーム	限度額 25万円	限度額 25万円	改修費用の1/4以内 ※過去の改修履歴を除外
・融雪施設	個人 20万円 共同 40万円	個人 20万円 共同 40万円	
・耐震改修	限度額 50万円	限度額 50万円	耐震改修費用の1/4以内

※工事等の費用を基に計算した場合の端数については、千円未満を切捨て

※子育て世帯とは、中学生以下の子どもを養育する世帯

■ U I J ターン新規就業支援事業【新規】1,000 千円■

国の制度を活用し東京23区に在住または勤務している方がU I J ターンにより特定企業等に就職した場合、移住にかかる費用の助成を行います。

■ ヤング世代移住促進家賃助成事業【拡充】594 千円■

町営住宅は新しいものでも建築後15年以上が経過し、近年民間賃貸住宅の建設は進んでいますが、近隣に比べ家賃が高いことから若者世代を対象に民間賃貸住宅の家賃助成を実施し更なる移住定住の促進を図ります。

■ 移住定住ブランディング戦略事業 516 千円■

移住定住を推進する自治体の中で、競合する自治体との差別化を図るための「本質の明確化」と「独自のらしさ」を磨き上げるとともに、町民とともにブランディングを戦略的に行うことにより、魅力的な地域として移住希望者に「選ばれる地域」を目指します。

■ 子育て世帯町外通勤者支援事業 900 千円■

町内居住で町外企業に勤務している（する）世帯主で、中学生以下の子どもを養育する方に対し通勤費用の一部を助成し経済負担を軽減することにより本町への移住定住を促進します。

■ 町外通勤者移住支援事業 600 千円■

町外居住で町内企業に勤務している（する）方が、沼田町に転入する場合に転入費用の一部を助成し経済負担を軽減することにより本町への移住定住を促進します。

■ ライフパートナー探し応援事業 300 千円■

結婚について前向きに取り組む意欲のある希望者に対し支援を行い、結婚から子育てまで一貫した「切れ目のない支援」を行うことで、地域活力・人口の維持を図ります。

交流人口の拡大

■ 歩いて健康・食べて発見・巡ってにぎわい創出事業【新規】1,981 千円■

健康・食をテーマに商業拠点施設である「まちなかほっとタウン」と医療・健康の拠点施設である「暮らしの安心センター」をメイン会場に町内各施設を巡る「ウォーキングイベント」や「にぎわいイベント」を開催し、まち全体に新たな人の流れを生み、にぎわいや潤い、活力を創出し地域内外の交流人口の増加を図ります。

■ 沼田町まるごと自然体験プロジェクト事業 11,550 千円■

平成30年度において、ほろしん温泉周辺での「ほたる・自然環境」などエリア整備の可能性調査を行ったところですが、本年度においては、町内に点在する地域資源をパッケージ化及び価値の再認識・磨き上げるとともに地域資源を一体的にPRし周遊・滞在していただける仕組みづくりと、子どもの時から沼田町の歴史や文化を体験を通じて学び、将来、町民皆さんが「語り部」として本町の魅力を発信いただける仕組みづくりについて検討



■ J R 留萌本線利用促進事業【新規】3,000 千円■

昨年まで商工会で実施していただいていた「J R 留萌本線応援事業」に加え、NHK朝の連続テレビ小説「すずらん」20年記念イベント、日本遺産に認定された「炭鉄港」の構成文化財である「クラウド15号蒸気機関車」の生誕130年記念事業を観光協会との連携で行いJ R 留萌本線の利用を促進します。

■ 北そらち～南るもい こどもパスポート事業【新規】270 千円■

周辺8市町と連携し周遊観光事業を実施し、本町の「雪やあんどん・ほたるや化石」そして本年5月に日本遺産に認定された「炭鉄港」の構成文化財のひとつである「クラウド15号蒸気機関車」といった本町の魅力ある地域資源を知っていただくことで、都市圏からの交流人口を増やし将来的な移住定住を目指します。

産業の振興と産業創出

■ 農地流動円滑化支援事業【新規】 1,141 千円 ■

現状、本町における農地流動化は進み1経営体当たり約25ha、水稻作付面積では約20haを超える経営状況にあり、経営規模拡大に伴い施設整備などの新たな投資による負担増が懸念されることから、本町農業の持続発展と遊休農地化を防ぎ、効率的な営農を継続するため新たな流動化対策を実施します。

■ 有害鳥獣対策事業【拡充】（ヒグマ） 1,090 千円 ■

近年、ヒグマの目撃情報が多数寄せられ営農や日常生活への影響が懸念されていることから、箱罠を追加購入するとともに捕獲助成金、鳥獣アドバイザーによる現地調査等を新たに実施し捕獲に向けた取り組みを強化します。

■ 有害鳥獣対策事業【拡充】（電牧柵） 18,465 千円 ■

近年、本町では野生鳥獣による農作物被害が増加しており、また、エゾシカは銃器の使用ができない夜間に出没することが多いことから効果的な捕獲の実施に苦慮している状況にあります。

更新地区では、2期にわたり電牧柵の整備を行ってきましたが更に施設効果を上げるため敷設延長を行います。

■ 加工用トマト作付奨励事業【新規】 930 千円 ■

本町農業が持続的に発展するためには、水稻との複合経営を推進し多様な作物等の導入による農業経営の高度化が必要であり、水稻の輪作作物として位置付けられている加工用トマトの生産による農業所得の確保及び特産品（トマトジュース等）の安定的な製造に向けて作付面積の拡大と農業所得の維持向上を図ります。



■ 中小企業特別融資事業【拡充】 33,000 千円 ■

本町の中小企業者などに対する運転資金及び設備資金の融資を促進し、中小企業などの振興を図ることを目的に事業を行っておりますが、今回、融資枠及び限度額の拡大を行い町内事業者の設備資金・運転資金を確保します。

■ 商工業活性化サポート事業 4,000 千円 ■

景気の動向からも、依然地方を取り巻く環境は厳しいものがあり10月からの消費税増税に伴う消費傾向は不透明さを増すことが予想されることから、経営の安定化・商店街の活性化などの取り組みに助成し地域の振興及び活性化を図ります。

■ しごと・未来応援プロジェクト【拡充：無料職業紹介所開設】 7,539 千円 ■

町内企業・事業所において圏域人口の減少もあり労働力の確保に苦慮する状況にあることから、町内企業・事業所の情報発信と「ぬまたっ子」の就業に対する不安解消に向けた「キャリア教育」を実施することにより「働く＋暮らす」をセットで事業展開し、移住定住の促進と持続する地域づくりを進めます。

また、新たに【無料職業紹介所】を開設し「沼田町で働きたい人」と「働き手が必要な町内事業者」の縁結びを行います。

■ 魅力アップぬまた活性化支援事業【拡充】 5,000 千円 ■

魅力あるまちづくりを促進するため、店舗の新築・空き店舗を活用した新たな商業活動、起業化や商品開発などへの取り組み、まちおこし事業や自主的・継続的なまちづくりへ助成し、まちの活力維持・活性化を図ります。

教育、子育て環境の充実

■ 高校生医療費助成事業【新規】 1,500 千円 ■

平成22年度から、医療費の助成対象を中学生まで拡大し、子育て世帯の負担軽減（無償化）を図ってまいりましたが、本年度から対象を高校生まで拡大し子育て環境の更なる充実を図り福祉の向上に努めます。

■ 「子育て世代包括支援センター」の設立【新規】 ■

母子健康手帳交付や乳幼児世帯の転入をきっかけに、子育て世代包括支援センターが妊婦や家族などと信頼関係を築き、将来にわたって健康的な生活習慣を確立できるよう、関係機関と連携した切れ目のない相談支援や事業を実施します。

■ インフルエンザ予防接種費用助成を高校生まで対象化【拡充】 61 千円 ■

現在、インフルエンザ予防接種の個人負担を中学生まで無償化し子育て世帯の負担軽減を図っておりますが、本年度から対象を高校生まで拡大し子育て環境の更なる充実を図り福祉の向上に努めます。

■ がんばる高校生応援手当 7,320 千円 ■

「未来のぬまた」を担う人材育成のため、保護者の経済的負担を軽減し子育て環境の向上を図ります。

■ 子育て世帯冬季暖房経費助成事業 1,700 千円 ■

本町は北空知管内でも有数の積雪寒冷地であることから、中学生以下の子どもを養育する世帯に対し冬季暖房費の一部を助成し、子育て世帯の負担軽減を図ります。

■ 中学校卒業生 半てん贈呈事業【新規】 924 千円 ■

母校やふるさと沼田町への想いをもち続けてもらえるよう、多くのぬまたっ子が小さな頃から参加する夜高あんどん祭りの半てんを贈り、中学校卒業をお祝いします。

■ 中学校部活動生徒送迎事業【新規】 418 千円 ■

現在、中体連を除く各種大会参加に係る生徒の送迎は保護者の方が行っていますが、大会の時期によっては送迎を行う保護者の不足などの課題があることから、一部大会参加に対して町有バスなどでの送迎を行い保護者負担を軽減します。

■ 青少年スポーツ文化振興助成事業【改正】 300 千円 ■

従来「スポーツ文化振興助成事業」を改正し、中学生までを助成対象とし大会・コンクール参加に要する経費の一部を助成し、青少年のスポーツ・文化活動への参加を応援します。

町民福祉の向上

■ 高齢者世帯等除雪費助成事業 4,068 千円 ■

高齢者の地域での孤立や繋がり希薄化が指摘されるなど地域の生活課題が多様化する中で、除雪は高齢者にとって在宅生活を続ける上での大きな課題であることから除雪経費の助成を行い、在宅生活における負担軽減により福祉の向上を図ります。

■ 防災対策の充実（福祉施設に非常用発電機の整備） 138,171 千円 ■

福祉避難所である「和風園」「旭寿園」に非常用発電機を整備し、地域防災力の向上を図ります。

■ 防災対策の充実（非常災害時用トイレトレーラーの導入） 17,383 千円 ■

近年、北海道内においても異常気象や地震などにより各地で大きな被害が発生しており、広域停電の発生など記憶に新しいところですが、避難所での衛生環境悪化による体調管理への不安もあります。

被災時における最低限の衛生環境を確保するため、牽引式のトイレトレーラーを導入し不安の軽減を図ります。